



Pack
6

Ferrari

250 GTO



Ferrari

250 GTO

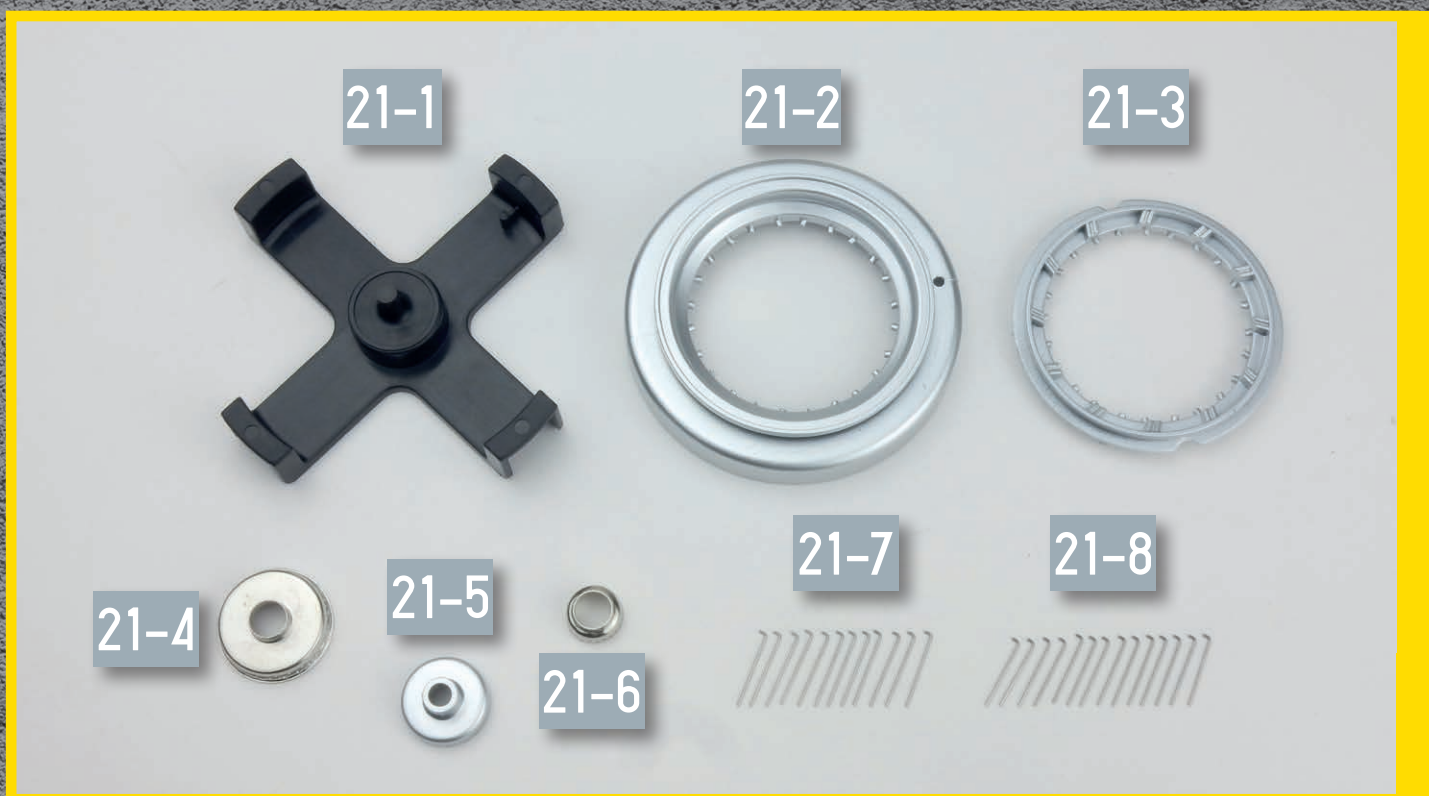
組み立てガイド

STAGE 21	フロントホイール・左	P.81
STAGE 22	フロントホイール・左 ②	P.85
STAGE 23	フロントホイール・左 ③	P.89
STAGE 24	フロントホイール・左 ④	P.93



フロントホイール・左

左側のフロントホイールの組み立てを始めよう。組み立て作業は数回にわたって続けていく。



パーツリスト

21-1 組立ジグ

21-2 インナーホイールリム

21-3 スポークハウジング

21-4 タイプAハブ

21-5 タイプBハブ

21-6 タイプCハブ

21-7 タイプAスポーク×12

21-8 タイプBスポーク×14 (2本は予備)

ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったならネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミネラルオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

/01



21-1(組み立てジグ)と21-2(インナーホイールリム)を用意する。ジグには小さな固定スタッドがあり、ここにインナーホイールリムの穴を合わせる。

/02



21-2(インナーホイールリム)を21-1(組み立てジグ)に固定する。組み立てを進める前に、両面テープを小さく切って、21-1(組み立てジグ)の中央のスタッド四隅に貼り付けておくといよい。次にハブを所定の位置に置くときに安定させることができる。

/03



21-5(タイプBハブ)を21-1(組み立てジグ)の中央スタッドに配置する。写真のように置いたら、その上に21-4(タイプAハブ)を合わせる。

次にスポークを置いていく作業に移るが、その前に、21-2(インナーホイールリム)内側に、小さく切った両面テープを貼り付けよう。こうすることで、スポークを所定の位置に留めておくことができる。

※両面テープはホイールから外側にはみ出さないように注意する。

/04





/05



21-4(タイプAハブ)下の穴の列に21-8(タイプBスポーク)を取り付けていく。21-7(タイプAスポーク)よりも短い方であることを確認する。各スポークは、まずフックの端を挿入し、それからまっすぐな端の方を、両面テープを貼った21-2(インナーホイールリム)のノッチに配置していく。Bスポークをすべて組み込んだとき、それぞれ両隣りの穴は空いているはずだ。

写真のように正しく取り付けられているかどうか、確認しておく。

/06



/07



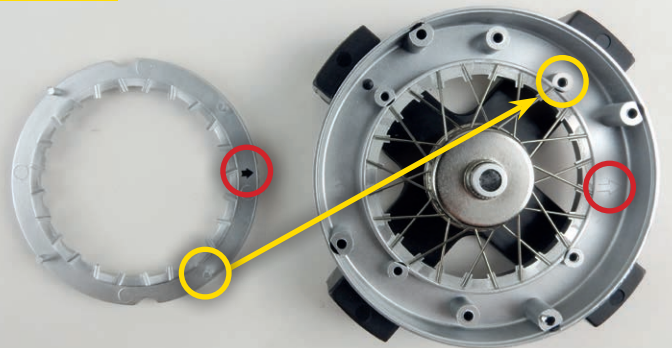
21-7(タイプAスポーク)を取り付けよう。フックの端を21-8(タイプBスポーク)のすぐ左にある穴に、Bスポークの上を通過するように挿入する。写真のように、Aスポークの一端を配置する21-2(インナーホイールリム)のノッチを確認しよう。

/08



すべてのスポークが正しく取り付けられると、写真のように仕上がる。

/09



最後に、21-3(スポークハウジング)を21-2(インナーホイールリム)内側に取り付ける。写真の矢印のように正しく合わせよう。

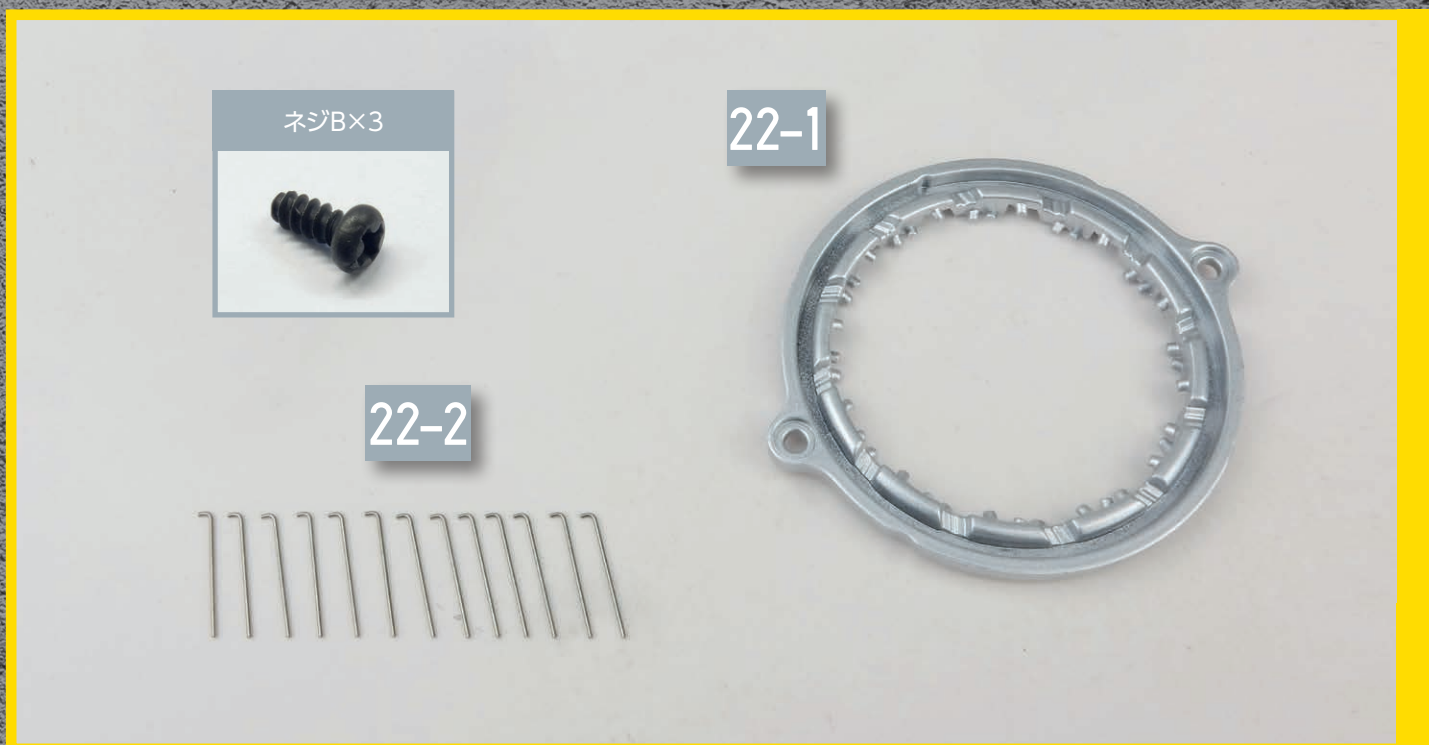


STAGE 21 の完成

今回仕上がった左側のフロントホイール。次の組み立て作業まで大切に保管しておこう。

フロントホイール・左 ②

引き続き、左側のフロントホイールの組み立てを続ける。写真をよく見ながら慎重に進めよう。



パーツリスト

22-1 スポークハウジング②

22-2 タイプAスポーク×13 (1本は予備)

ネジ類

ネジB (P2.3×5mm) ×3 (1本は予備)

ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったらネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のマシンオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

STAGE 22

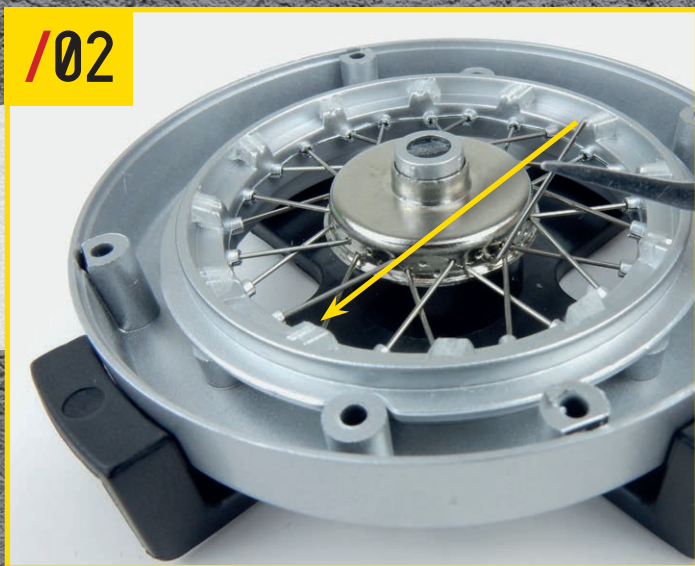
/01



STAGE 21 で組み立てたフロントホイールを用意する。まず、スポークハウジングの側端に小さく切った両面テープを貼り付けよう。

22-2(タイプAスポーク)のフックを、ハブに残っている下側の穴に挿入する。Aスポークのまっすぐな端の方は、スポークハウジングの対応するノッチ(両面テープが貼られている箇所)に配置する。写真のようにAスポークを正しく配置する。

/02



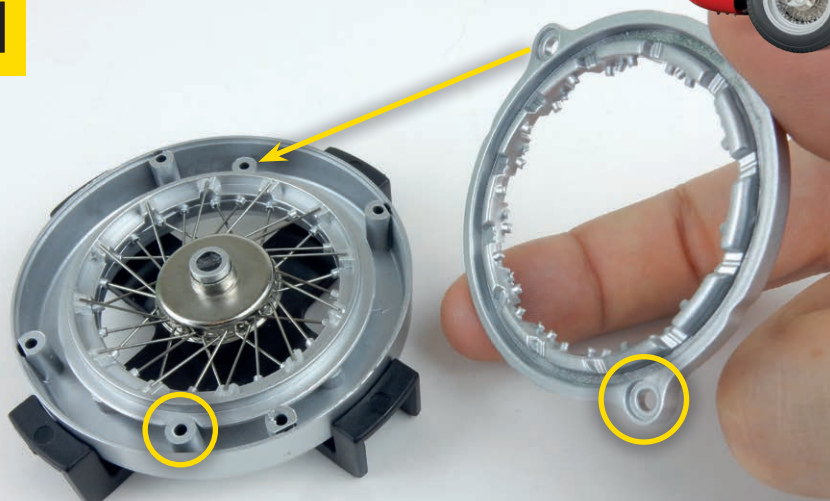
タイプAスポークがすべて、写真のように取り付けられているかどうか確認しよう。

/03





/04



22-1 (スポークハウジング②)を、写真のように合わせる。

2本のネジBで固定する。

/05



/06



すべてのパーツが正しく組み込まれているか確認する。



STAGE22 の完成

左側のフロントホイールがここまで仕上がった。他のパーツとともに大切に保管しておこう。

フロントホイール・左 ③

左側のフロントホイールの組み立てを続ける。STAGE 24 でひとつ完成だ。



パーツリスト

23-1 アウターホイールリム

23-2 シールリング

23-3 ワッシャー

23-4 タイプAスポーク×12

23-5 タイプCスポーク×25 (1本は予備)

ネジ類

ネジB (P2.3×5mm) ×7 (1本は予備)

ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったらネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミシンオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

STAGE 23

/01



23-4(タイプAスポーク)のフックを、21-4(タイプAハブ)上の残りの穴に挿入する。写真のように、スポークは向きを正しくし、まっすぐな端の方を22-1(スポークハウジング②)のノッチに配置する。

STAGE 22 で組み立てた左側のフロントホイールを用意する。組み立てを始める前に、22-1(スポークハウジング②)の端に小さく切った両面テープを貼り付けておこう。

/02



23-4(タイプAスポーク)をすべて組み込んだら、21-6(タイプCハブ)を写真のように置く。

/03



23-5(タイプCスポーク)のフックを、21-6(タイプCハブ)の下の穴に挿入する。

/04





写真のように、Cスポークのまっすぐな端の方をハウジングのノッチに配置する。ハブの下の穴すべてが埋められるまで、この手順を繰り返す。

さらに、23-5(タイプCスポーク)のフックを、21-6(タイプCハブ)の上の穴に挿入する。



Cスポークのまっすぐな端の方を、ハウジングの一番上にあるノッチに配置する。ハブの一番上の穴すべてが埋められるまで、この手順を繰り返す。



23-2(シールリング)を23-1(アウターホイールリム)の内縁に固定する。写真のように、2本のネジBで固定する。



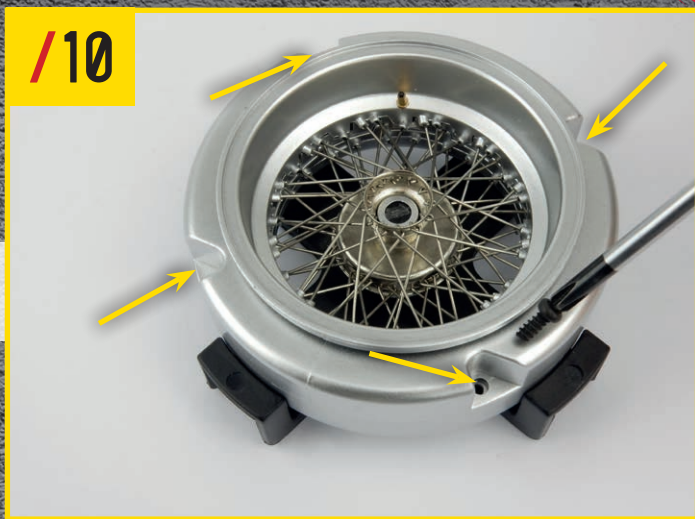


23-1 (アウターホイールリム) をフロントホイールに取り付ける。写真のように、円で囲んだ部分を合わせる。



/09

4本のネジBでリムをホイールに固定する。



/10

STAGE 23 の完成

左側のフロントホイールがここまで仕上がった。次回で左側のフロントホイールを完成させよう。



フロントホイール・左 ④

タイヤをはめ込んでフロントホイールを完成させよう。写真をよく見て、慎重に作業を進めよう。

24-1



パーツリスト

24-1 タイヤ

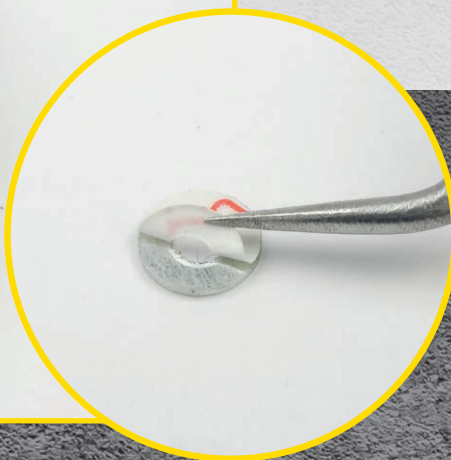
ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったならネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミシンオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

STAGE 24

/01



STAGE 24 で組み立てた左側のフロントホイールと23-3(ワッシャー)を用意する。円内写真のように、ワッシャーの保護フィルムをはがす。



フィルムを剥がしたワッシャー側の面を下に向け、写真のようにタイプCハブに挿入する。

/02



/03



写真を見のようにワッシャーが配置されているか確認しよう。



/04



24-1(タイヤ)をホイールにはめこむ前に、(たとえば、ヘアドライヤーなどで)タイヤを少し温めておくとよい。ゴムが少しでもやわらかくなると扱いやすい。

タイヤに十分な柔軟性があることを確認する。

/05



/06



タイヤに左側リムをはめこむ。
※組み立てジグは残りのホイールを組み立てるときに使うので、大切に保管しておこう。



STAGE 24 の完成

これで左側のフロントホイール組み立てが完了した。他のパーツとともに、大切に保管しておこう。